

(様式1)

## 令和3年度 学力向上を図るための全体計画

学校名	墨田区立緑小学校
校長名	近藤 幸弘

### 1 本校の学力に関する状況

#### (1) 墨田区学習状況調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・学年教科ごとの状況を見ると、目標値を上回っている、または同程度の正答率となっており、良好な結果と言える。</li><li>・各教科の観点別に見ると、「思考・判断・表現」の正答率が目標値を10ポイント以上上回るものが見られ、記述問題でのポイントも向上が見られた。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・算数・理科では目標値の同程度の正答率ではあるが、下回っているものが見られる。基礎・基本を確実に積み重ね、活用する力へつなげていく。</li><li>・記述する問題に対しては年々向上が見られるが、自分の思いや考えを表現する力をさらに高めていく。</li></ul>

#### (2) 意識調査結果から

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・「学級環境」の項目は全般的に肯定値が平均を上回っている。その中でも、「いじめのサイン」「対人ストレス」に対しては肯定値が高く、児童同士が互いに認め合う関係が築けていることがうかがえる。</li><li>・「自己認識」の項目では、「家族・友だち・先生からのささえ」の肯定値が平均を上回っている。人のささえや協力があることを感じている児童が多いことがうかがえる。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・昨年度同様、「自己認識」「社会性」「生活・学習習慣」の肯定値が低くでている。新しい生活様式の中でできる限りの対応をしていき、児童が前向きに活動できる環境を整えていく。</li><li>・「社会性」の項目の「発信力」では、肯定値があまり高くない。調査結果としては向上が見られるが、自信をもつところまでに至っていないことがうかがえる。授業改善を図りながら、自分の考えを分かりやすく伝えることに自信をもてるようにしていく。</li></ul>

#### (3) 墨田区学習状況調査や意識調査以外から明らかになっている学習に関する状況

成 果	課 題
<ul style="list-style-type: none"><li>・関わり合いに制限がある中でも、問題解決学習を積み重ねていくことで、見通しをもって主体的に学習に取り組む児童が増えている。</li><li>・振り返りの学習や自分の考えを伝える活動を継続的に行うことで、知識を他の学習にいかしたり、新しい疑問を次の学習につなげたりする意識が高まっている。</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・意識的、継続的に取り組んでいるが、個人差をなくしていくには課題が残る。活動から成功体験や充実感を感じることができるような場を設定し続けていく</li></ul>

## 2 本年度の学力向上に関する主な取組

### (1) 学習環境の整備、学習習慣の定着

- ・生活の週目標などに「みどりスタンダード」を取り入れ、実践しやすくしながら、児童が学級の規範意識をより高めていけるようにする。また、家庭へも継続的に啓発をしていく。
- ・ICTの活用・ホワイトボードの活用・ノート指導を通して、見方・考え方を働かせる授業を意識して行う。児童一人一台のタブレット端末の活用に応じた授業を組み立てていく。
- ・タブレット端末を活用し、ロイロノートやミライシードを使った家庭学習を充実させる。課題に合った学習に主体的に取り組み、家庭での繰り返しの学習に活用できるようにする。また、教員が取り組み状況を把握しながら、学習の定着を図る。

### (2) 言語活動による自己の考えの深化、発展

- ・自ら考え、自分の思いや考えを生かした課題に向かう学習活動を取り入れ、授業改善を進めさせる。
- ・場面に合った言語活動により、各自の思いや考えのよさを、共有したり深めたりできるようにする。
- ・振り返りの時間を設定し、知識の再構築を行う。また、児童の新たな疑問を次の学習につなげたり、他の学習に生かしたりできるような単元構成を工夫する。

### (3) 個や少人数に応じた指導の充実

- ・算数では、「東京ベーシックドリル」を活用して、個の定着度を把握しながら、より効果的に振り返りの学習に取り組ませる。
- ・学校支援員による個別指導や、放課後や長期休業期間などに指導の機会を設ける。
- ・児童の実態に合わせ、活用問題に取り組ませたり、ミライシードを活用して、個に応じた予習や復習ができるようにしたりする。

## 3 「令和4年度 墨田区学習状況調査」における目標

### (1) 目標

- ・各教科、各観点で、目標値を上回るようにする。
- ・各教科の活用問題において、目標値を5ポイント以上上回るようにする。
- ・記述式の問題において、無回答をなくし、目標値を上回るようにする。
- ・E・D層の割合について、本年度を超えないようにする。